



A 試合会場レポート

バレーボール

No. 8

インターハイ男子

会場：ダイハツ九州アリーナ

試合番号 002

開催日 2024/08/04

| | | | | | |
|------|------------|-------------|-------------|-----------|-----------|
| 観客数: | 開始時間: 9:30 | 終了時間: 10:42 | 試合時間: 01:12 | 主審: 酒巻 祐亮 | 副審: 弘中 秀治 |
|------|------------|-------------|-------------|-----------|-----------|

洛南

監督: 細田 哲也
コーチ: 伊地智 雄三

通算: 0 勝 1 敗
勝点: 1

東福岡

監督: 藤元 聡一
コーチ: 小藤 稔

通算: 1 勝 0 敗
勝点: 2

| | | | | |
|---|----|------------------|----|---|
| 1 | 19 | 第1セット 【00:20】 | 25 | 2 |
| | 25 | 第2セット 【00:22】 | 21 | |
| | 20 | 第3セット 【00:24】 | 25 | |
| | | 第4セット 【 】 | | |
| | | 第5セット 【 】 | | |

勝点 【】内はセット時間 勝点
1 ()内は交代選手 2

<監督コメント>

<監督コメント>

| | | | | | |
|----|-------|-------|-------|--------|----|
| 19 | 中上 烈 | 吉田 海斗 | 首藤 柚希 | 比嘉 晃眺 | 25 |
| | 坂口 友哉 | 料治 慧 | 照屋 舜 | 立石 結大 | |
| | 清水 愛音 | 酒井 星英 | 松下 晃大 | 安座間 瑛新 | |

リベロ: 角田 空翔 川瀬 蒼 リベロ: 金城 哉汰

| | | | | | |
|----|-------|-------|-------|--------|----|
| 25 | 坂口 友哉 | 中上 烈 | 比嘉 晃眺 | 立石 結大 | 21 |
| | 清水 愛音 | 吉田 海斗 | 首藤 柚希 | 安座間 瑛新 | |
| | 酒井 星英 | 料治 慧 | 照屋 舜 | 松下 晃大 | |

リベロ: 角田 空翔 川瀬 蒼 リベロ: 金城 哉汰

| | | | | | |
|----|-------|-------|-------|--------|----|
| 20 | 坂口 友哉 | 中上 烈 | 比嘉 晃眺 | 立石 結大 | 25 |
| | 清水 愛音 | 吉田 海斗 | 首藤 柚希 | 安座間 瑛新 | |
| | 酒井 星英 | 料治 慧 | 照屋 舜 | 松下 晃大 | |

リベロ: 角田 空翔 川瀬 蒼 リベロ: 金城 哉汰

| | | | | | |
|--|-----|-----|-----|-----|--|
| | () | () | () | () | |
| | () | () | () | () | |
| | () | () | () | () | |

リベロ: リベロ:

| | | | | | |
|--|-----|-----|-----|-----|--|
| | () | () | () | () | |
| | () | () | () | () | |
| | () | () | () | () | |

リベロ: リベロ:

<要約レポート>

準決勝は、6年ぶりの決勝進出を狙う京都府代表の洛南高等学校と2年ぶりの決勝進出を狙う福岡県代表の東福岡高等学校の対戦となった。第1セット、東福岡の1番金城哉汰を中心としたフロアディフェンスでボールをつなぎ、3番松下晃大を起点に得点を重ねる。一方洛南も5番中上烈を中心に攻撃を仕掛けるが、東福岡の徹底マークにあり、なかなかリズムに乗ることができない。最後は東福岡の1番照屋舜の連続ブロックとスパイクで第1セットを得た。

第2セット、洛南の1番酒井星英のサーブで東福岡のサーブレシーブを崩し、2番料治慧、5番中上烈とブロックで抑え込み、序盤の主導権を握った。東福岡も両サイドを広く使ったコンビで対抗するも、要所で洛南2番料治慧、10番吉田海斗のスパイクと8番坂口友哉のブロックで追いつかせない。最後は洛南5番中上烈の気迫のこもった3連続バックアタックで取り返した。

第3セット、東福岡3番松下晃大が技ありのフェイントで序盤の主導権を握ったが、負けじと洛南5番中上烈がブロックの上から得点を決め、6番清水愛音、1番酒井星英のサーブで同点に追いつく。コートチェンジ後も洛南がリードを広げるが、東福岡2番立石結大のブロックが洛南の攻撃を止め逆転に成功する。その後も東福岡の絞らせないコンビと9番比嘉晃眺のトリックプレーで洛南を振り切り、最後は3番松下晃大のスパイクで第3セットを取り決勝進出を決めた。

作成者: 蘆刈 佑貴